

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

Zoomによるオンライン講義

受講希望者は6月27日(月)17:00までに事前登録をお願いします。

記

演題：胎生期栄養環境と生活習慣病・口蓋裂の発症
—DOHaD（ドーハッド）説からその予防を考える—

講師：福島県立医科大学 特任教授
千葉大学 医学部 客員教授 福岡 秀興 先生

日時：令和4年 6月29日(水) 17:00～18:30

内容：

「望ましくない胎生期環境は胎芽・胎児に first insult として作用し、エピゲノム変化を生じる。そこに出生後の乳幼児期に望ましくない環境が負荷されると、それが second insult となり、生活習慣病が発症する。」という新しい DOHaD (Developmental Origins of Health and Disease) 説が注目されている。これは多くの疾患や健康を決定する基本機序として新たな生命科学の中心概念になりつつある。

口蓋裂は、遺伝子の多型・異常に加えて、臓器形成に関与する遺伝子の受精周辺期での一部栄養素の不足・過剰による発現異常により生ずる。同時にそれは代謝等に関与する他の遺伝子の発現異常を伴うので、神経管閉鎖障害、精神神経発達その他の生活習慣病のリスクを同時に伴うと考えられている。アルコール等の環境化学物質に加えて、葉酸、ビタミンA、ビタミンDの

不足は口蓋裂リスクを高くする。しかし日本では、「小さく産んで大きく育つのが良い」との強い風聞の流布や、妊娠前女性の多くが低栄養状態にあって、低出生体重児の頻度は15年以上約10%という異常な状態が続いている。現在低出生体重児の高頻度に加え、二分脊椎症、心臓奇形が著しく増加しており、それは口蓋裂の増加が危惧される状況にある事を示唆する。DOHaDの視点からその予防を社会全体で考えるべき状況にあり、皆様と共に考えたい。

事前登録 URL :

<https://zoom.us/meeting/register/tJAqcemrpjgvGdI6LrRjsPtEG9SyZKNiZkyi>



連絡先 : 臼見莉沙 咬合機能矯正学分野(内線 5963)